

平成 30 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 無所属

氏名 吉田 淳一

項目	研修費		支出内容
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
1	1 / 9	80,260	「地方議員研究会」研修会 旅費・宿泊費 (大阪府大坂市) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計		80,260	備考
合計		80,260	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

平成30年12月10日

会派名

代表者名 吉田 淳一 様

氏 名 吉 田 淳 一



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 吉田 淳一 議員
- 2 期 間 平成31年1月9日(水)～平成31年1月10日(木)
- 3 場 所 大阪府大阪市(新大阪丸ビル別館)
- 4 目的及び内容 教育行政基礎講座  
「チーム学校」の要点と解説
- 5 経 費 80,260円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎						
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
行	1/9	八戸駅発 7:17	早見表						
き	1/9	新大阪駅着 13:23							
帰	1/10	新大阪駅発 9:30							
	り	1/10		八戸駅着 15:04					
<b>経路・滞在地</b>  1/9 (水) 7:17 八戸駅発(はやぶさ8) 10:32 東京駅着 10:50 東京駅発(のぞみ107) 13:23 新大阪着  14:00~16:30 ○教育行政基礎講座 「チーム学校」の要点と解説 会場：新大阪丸ビル別館 (大阪市東淀川区東中島 1-18-22 丸ビル別館) 主催：地方議員研究会  1/10 (木) 9:30 新大阪駅発(のぞみ120) 12:03 東京駅着 12:20 東京駅発(はやぶさ21) 15:04 八戸駅着			鉄道運賃		1,184.5k	13,820	24,860	八戸⇄新大阪(往復割引)	
					k				
					k				
					k				
			急 行 料 金	特		2	6,160	12,320	八戸⇄東京 631.9K
						2	5,180	10,360	東京⇄新大阪 552.6K
			急						
			特別車両 料 金			2	4,110	8,220	八戸⇄東京 631.9K
						2	5,300	10,600	東京⇄新大阪 552.6K
			船運賃						
			航空運賃						
			バス運賃						
			宿泊料		1	13,900	13,900	1/9 大阪市	
			小 計		80,260				
			合 計 (小計×人数)		80,260	1名			

平成31年1月21日

会派名  
代表者名 吉田 淳一 様

氏 名 吉 田 淳 一



### 調査視察等報告書

平成30年12月10日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 吉田 淳一 議員
- 2 期 間 平成31年1月9日(水)～平成31年1月10日(木)
- 3 場 所 大阪府大阪市(新大阪丸ビル別館)
- 4 概 要 別紙のとおり

# 地方議員研究会

## 1/8 火

10:00~12:30

新教育委員会制度とは  
~議員として押さえておきたい  
教育委員会の組織論~

教育委員会制度の歴史  
新教育委員会制度の解説  
教育委員会の現状と課題

14:00~16:30

新教育委員会制度とは  
~議員として押さえておきたい  
教育委員会の現実論~

教育委員としての活動  
教育委員会改革の先行事例の解説  
人口減少を目標とした教育改革を進めるには



# 教育行政

新人からベテランまで1000人以上が受講した  
現役教育委員が議員限定に話すセミナー

# 基礎講座

in大阪



講師  
みずの たつろう  
**水野 達朗**

一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事、大阪府大東市教育委員、文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、大阪府教育委員会「こころの再生百人衆」など

## 1/9 水

10:00~12:30

「小中一貫教育」の要点と解説  
~最新議論!未来を作る教育の  
ための論点をおさえよう~

小中一貫教育の概要  
小中一貫教育の課題と展望  
小中一貫教育の先行事例と議会質問のポイント

14:00~16:30

「チーム学校」の要点と解説  
~最新議論!未来を作る教育の  
ための論点をおさえよう~

チーム学校の概要  
チーム学校の課題と展望  
チーム学校の先行事例と議会質問のポイント

不登校の復学支援や予防・開発的な家庭教育支援を精力的に行っている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなども行っている。著書に、「ころんでも立ち上がれる子はあなたが育てる」(牧歌舎2013年4月出版)、「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PHP研究所2015年10月出版)など

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。  
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。  
参加される講座にチェックボックスへ  チェックください。

	1月8日(火)	1月9日(水)
10:00 ~ 12:30	<input type="checkbox"/> 新教育委員会制度とは ~議員として押さえておきたい 教育委員会の組織論~	<input type="checkbox"/> 「小中一貫教育」の要点と解説 ~最新議論!未来を作る教育のための 論点をおさえよう~
14:00 ~ 16:30	<input type="checkbox"/> 新教育委員会制度とは ~議員として押さえておきたい 教育委員会の現実論~	<input type="checkbox"/> 「チーム学校」の要点と解説 ~最新議論!未来を作る教育のための 論点をおさえよう~

お名前	(フリガナ) .....	貴議会名	( 期目)
電話番号	( ) - ( ) - ( )	FAX番号	( ) - ( ) - ( )
E-mail	.....@.....		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他( )		
当日不参加の場合はチェックください		<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) <small>音声データの無断転載等はないことに同意して申込みます</small>	

**開催場所** 新大阪丸ビル別館  
[4講座同場所] 〒533-0033 大阪市東淀川区 東中島1-18-22 丸ビル別館

**受講料** 1講座 15,000円(税込)  
受講料は「受講確認書」到着後に  
事前にお振込みをお願いします。  
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局



**地方議員研究会**

TEL 06-7878-6297  
FAX 06-7878-6308  
メール mail@chihogiken.jp  
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

JR新大阪駅東口より徒歩2分  
地下鉄御堂筋線・新大阪駅⑨⑩番出口より徒歩8分  
近隣に「本館」や「新館」もございますが、会場は「別館」です。お間違えのないようお越しください。  
京都・神戸まで約30分

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ありません。また、テーマ、チラシレイアウト等も同じ無関係な団体もございませぬので、お間違いないようご注意ください。

## 視察報告書

視察日 平成31年1月9日(水) 14:00～16:30

視察地 大阪府大阪市

視察目的 教育行政基礎講座「チーム学校」の要点と解説

視察議員 吉田 淳一

視察の内容

1. チーム学校の概要
2. チーム学校の課題と展望
3. チーム学校の先行事例と議員質問のポイント

## 1. チーム学校の概要

### ○「チーム学校」とは

これまで教員が何でもこなしてきた学校組織を、専門家や地域の人たち等の力を取り入れられるような組織に改革しようとする考え方。

専門スタッフの力を取り入れ、チームとして様々な課題に取り組むことで、教員が授業に専念できるような体制作りを目指そうというもの。(平成26年7月から、中教審で検討)

具体的には、様々な専門スタッフの活用(スクールカウンセラー<SC>やスクールソーシャルワーカー<SSW>の常置や部活動指導員の新設等)、学校による業務改善の推進などの取り組みを進めるものである。

### ○「チーム学校」のねらい

専門スタッフが力を発揮すべき仕事は任せ、「世界一忙しい」と言われる日本の教員の「子どもに向き合う時間」を増やすこと。そのうえで、学校全体をチームとして機能させ、教育力を向上させるもの。

### ○「チーム学校」が求められる背景

核家族化の進行、共働き世帯の増加などの、学校を取り巻く社会状況が変化しており、また、少子化に伴う教員定数が削減されていることが挙げられる。

また、資料のデータからもわかるように、学校現場が抱える問題は複雑化、多様化しそして深刻化している。

### ○「チーム学校」のまとめ

従来の学校は、自己完結型であり、内向きな学校構造。そのため、「学年・学級王国」を形成し、教員間の連携も少ない状況であった。

現在の学校は、教員以外の専門スタッフの比率が国政的にみて低い構造であり、複雑化・多様化する課題が教員に集中し、授業等の指導教育に専念しづらい状況である。主として教員のみを管理することを想定したマネジメントである。

このような状況を改善し、教育力を向上していくことを狙っているのが「チームとしての学校」である。

## 2. チーム学校の課題と展望

チーム学校を実現させるためには、3つの視点が重要となる。

- ① 専門性に基づくチーム体制の構築（教員、事務職員、専門スタッフ等が連携分担し、それぞれの専門性を発揮できる体制の構築）
- ② 学校マネジメントの機能強化（校長がリーダーシップを発揮できる体制の整備）
- ③ 教員一人一人が力を発揮できる環境の整備（教職員の人材育成や業務改善等の取組を推進）

例えば、①については、教員の負担となっている部活動指導について、東京都で取り組んでいる人材確保の先進事例がある。（2010年より実施）

東京都教育庁と東京都体育協会、日本体育協会の3者で人材バンクを運営するものである。

具体的には、東京都教育庁は、希望する学校をとりまとめ、マッチング後の諸調整を行う。東京都体育協会は、学校と指導者をマッチングする。そして、日本体育協会は、指導者の募集や希望者のとりまとめをする、というものである。

このように、3つの視点を中心に改善していくことで、チーム学校の体制を実現可能とする。

## 3. チーム学校の先行事例と議会質問のポイント

現在、多忙を極める教育現場であるが、そんな中、業務軽減に取り組んでいる事例もいくつかあった。

特に、ICTを活用した統合型校務支援システムによる、業務改善等の負担軽減事例は興味深いものであった。

「統合型支援校務システム」とは、教務系（成績処理、出欠管理、時数等）・保健系（健康診断票・保健室管理等）、指導要録等の学籍関係、学校事務系などを統合して機能を有しているシステムのことであり、「手書き」「手作業」が多い教員の業務の効率化を図る観点で有効である。また、教職員による学校・学級運営に必要な情報、児童生徒の状況の一元管理、共有を可能とするものである。

すでに、大阪市教育委員会や北海道教育庁が先行して導入している。

その結果として、時間外勤務（持ち帰りを含む）が減少し、反対に授業準備（教材研究）にかけられる時間や子どもと向き合う時間が増加した、という結果がでており、素晴らしい成果であると感じた。

#### 4. 所感

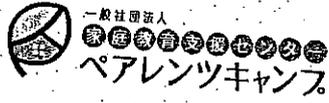
子どもの学力や様々な能力を伸ばし、健やかに育ててくれる場所でもある学校は、子どもの成長にあたりとても大きな役割を担っている機関である。学校や、そこに務める教員の負担が増えすぎては、よりよい教育を提供することが困難になるであろう。

今回の「チーム学校」の実現は、現在の多忙な教育現場を改善、解決するにあたり、大変魅力的である。学校現場が抱える問題について、専門スタッフ、地域コミュニティなど多方面からサポートし、連携していくことで、問題に適切に対応ができ、また教員は教育に注力でき、よりよい教育を提供できるなどという効果が得られると感じた。

いくつかの先行事例がありとても参考になったが、それぞれの地域事情に合わせて、問題点にあった取組を効率的に取り入れるということが大切であると感じた。

また、チーム学校の議論については、「次世代の学校・地域」創生プランにおいて、更に法整備が進んでいくことが考えられる。地方議員においても、最新の議論の要点を踏まえた上で、地域実情を鑑みた議会質問につなげていかなければならないと感じた。

今回の教育行政基礎講座「チーム学校」で調査視察をし、非常に参考となった。今後の八戸市教育行政に活かしていきたいと思う。



代表理事

水野 達朗

Taisuro Mizuno

〒530-0041

大阪府大阪市北区天神橋 2-2-10 ワイズビル 8F

☎ 06-6766-4470

✉ [info@parents-camp.jp](mailto:info@parents-camp.jp)

🌐 [www.parents-camp.jp](http://www.parents-camp.jp)

パアレんツキャンプ 検索 🔍

facebook · twitter

